

支配株主等に関する事項について

2022年5月26日

株式会社 東京証券取引所  
代表取締役社長 山道 裕己 殿

会社名 株式会社マイクロアド  
代表者の役職氏名 代表取締役社長 渡辺健太郎

当社の親会社である株式会社サイバーエージェント、その他の関係会社であるソフトバンク株式会社、その他の関係会社の親会社であるソフトバンクグループ株式会社、その他の関係会社の親会社であるソフトバンクグループ株式会社について、支配株主等に関する事項は、以下のとおりです。

1. 親会社、支配株主（親会社を除く。）、その他の関係会社又はその他の関係会社の親会社の商号等  
<親会社及びその他の関係会社を有する場合の記載例>

(2022年5月26日現在)

名称	属性	議決権所有割合 (%)			発行する株券が上場されている 金融商品取引所等
		直接所有分	合算対象分	計	
(株) サイバーエージェント	親会社	63.05	0.00	63.05	・株式会社東京証券取引所 市場第一部
ソフトバンク(株)	その他の関係会社	19.75	0.00	19.75	・株式会社東京証券取引所 市場第一部
ソフトバンクグループジャパン(株)	その他の関係会社の親会社	0.00	19.75	19.75	—
ソフトバンクグループ(株)	その他の関係会社の親会社	0.00	19.75	19.75	・株式会社東京証券取引所 市場第一部

2. 親会社等のうち、当社に与える影響が最も大きいと認められる会社の名称及びその理由  
名称：株式会社サイバーエージェント  
理由：株式会社サイバーエージェントは、当社の親会社であり、議決権所有割合が最大であるため。
3. 非上場の親会社等に関する決算情報の開示の免除の理由  
該当なし
4. 親会社等の企業グループにおける当社の位置付けその他の当社と親会社等との関係  
親会社の企業グループにおいて、インターネット広告事業に区分されております。  
親会社の企業グループにおいて当社と類似の事業を展開しているグループ企業は存在しますが、当社グループとその他の親会社の企業グループでは、顧客へのサービス提供にあたり担っている役割や商品特性等が異なるため類似性が低く、また、親会社グループによって当社グループの自由な事業活動や経営判断

が阻害されるような状況は生じておらず、当社グループは自らの意思決定により事業展開しております。

5. 支配株主等との取引に関する事項

当社グループと支配株主等との間には、広告売上取引及び広告媒体の仕入取引が存在しており、今後も事業上の取引を継続していく方針です。

6. 支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

当社は、支配株主との取引等を行う際には、関連当事者取引管理規程に従って、取引内容に応じて適宜取締役会において事前承認の取得又は事後報告を行うほか、毎年 1 回定期的に取引実績を確認し、取引継続の是非について検討しております。

(その他投資者が会社情報を適切に理解・判断するために必要な事項を記載してください。)

上場後最初に到来する事業年度の末日において、株式会社サイバーエージェントは「親会社」から「その他の関係会社」に、ソフトバンク株式会社は「その他の関係会社」から支配株主等のいずれにも該当しないこととなる見込みであります。

以 上